

薬剤感受性検査では, PCG, ABPC, FMOX, IPM, MINO, CLDM に高い感受性を示した.

### 7) 慢性涙嚢炎の Fosfomycin 投与によるサイトカインに及ぼす影響

大石 正夫(白根健生病院眼科)  
宮尾 益也(新潟大学眼科)

【目的】慢性涙嚢炎は鼻涙管狭窄に起因する細菌性感染症で, 保存的治療(点眼, 涙嚢洗浄など)により, ときに急性増悪を繰り返す難治性の症例を経験する. Fosfomycin (FOM) には抗菌作用の外に, 種々の生物学的活性を有することが報告されている. 今回, 難治性の慢性涙嚢炎の症例に FOM を投与して, in vivo におけるサイトカインの産生に及ぼす影響について検討した.

【方法】3%耳科用 FOM 液 1 mL を涙嚢内に注入, 週1乃至3回投与した. FOM 注入前, 注入後に涙嚢内を生食水で洗浄し, これを検体として ELISA を用いて各種サイトカイン濃度を測定した.

予備実験として行った症例で, IL-8 は全ての検体で高濃度に検出された. IL- $\beta$  は低値を示し, IL-4, TNF $\alpha$  は検出されなかった. よって今回は IL-8 に測定を絞って FOM の影響をみることにした. IL-8 値は検体の総蛋白質量を基準に算出した.

【結果】検体の性状で, 膿性, slime (+++) のものでは IL-8 は高濃度を示した. 7 症例に FOM を注入して, 6 例には検体の性状の改善に伴い, IL-8 値の低下が認められて有効に作用した. のこり1例では, はじめ IL-8 は低下したが後検体の性状の悪化とともに上昇した.

これら IL-8 値の変動は, 検体の性状をほぼ反映するものであった. FOM 涙嚢内注入による副作用はみられなかった.

【結論】FOM 液を涙嚢炎症例の涙嚢内に注入して, 検体の性状の改善に伴い IL-8 値の低下がみとめられて, FOM による涙嚢内サイトカイン産生への影響が示された. また, 慢性涙嚢炎に対する FOM 局所療法の有用性が認められた.

### 8) 腸管出血性大腸菌 O157 の薬剤耐性: 動向と耐性メカニズム

山本 達男・種池 郁恵(新潟大学  
細菌学教室)

目的: 腸管出血性大腸菌は腹部症状の他に, HUS や脳症等の深刻な合併症を惹起するが, 感染の初期には, 化学療法が有効であると考えられている. 本研究では, わが国の腸管出血性大腸菌の薬剤感受性を調査した.

材料と方法: 平成8年の大流行時とそれ以降に分離された腸管出血性大腸菌を用いた. MIC は日本化学療法学会の標準法に準じて測定した. 耐性遺伝子については PCR を行い, 塩基配列を解析した.

結果と考察: テトラサイクリン (TC), ストレプトマイシン (SM), スルファメトキサゾール (SMX), カナマイシン, ナリジクス酸, アンピシリン, クロラムフェニコールで耐性がみいだされた. 米国で報告されたウシ O157 由来の TC, SM, SMX 3 剤耐性がわが国でも確認された. 耐性を示した薬剤は, 家畜に使用している薬剤と一致する. 米国の場合と同様で, わが国の O157 の薬剤耐性もウシ等の家畜に由来していると考えられた.

## II. 特別講演

### 「感染症の最近のトピックス」

— エイズを中心に —

東京専売病院院長

島田 馨先生